



横浜市立釜利谷東小学校 6月号

学校便り

TEL 045-783-9398 FAX 045-701-9817 令和3年5月31日

ひがしの願い

ひとつの命
がんばる心

しんじあう仲間

人との関わり

副校長 松本 真理

今年度が始まって2か月たちました。密を避けるため人との関わりは少なくなっていますが、そんな中でもキラキラ光るすてきな場面を見つけたので紹介します。

「いつもおいしい給食を作ってくれてありがとうございます。」と、2年生の子が調理員さんに話しかけています。4時間目のあと手洗いをしている時の話です。いつも声をかけて



います。なぜいつも言うのかと聞くと「『おいしい』と言わないと、調理員さんは（おいしいのかな。）とまっていると思うから。」とっていました。言われた調理員さんはもちろん嬉しそうでした。日常のちょっとしたところに人との関わりを見て私も嬉しくなりました。

人との関わりと言えば、4年生の子が地域の方から蓮田について教えていただきました。いつも地域の方が春の作業をしてくださるので、今年度も7人の方が来てくださいました。地域の方から話を聞いた4年生の子は、「科学する心や蓮田のことを教えてくれておもしろかったです。」「はすの花がすごくきれい」と聞いたので、間近で見たいです。」と感想を書いていました。こんな学習をすることができるのも、地域の方が蓮田のことや子どもたちのことを気にしてくださっているからだといふつながりのありがたさを感じました。



また、先日、学校運営協議会がありました。その中で、子どもたちのあいさつがよくなったことを地域の方からほめていただきました。水曜日に見守りをしている時に「今年もよろしくおねがいします。」とあいさつした子がいたということでした。子どもたちがこのようなあいさつをできるようになったのは、きっと地域の方々がいまも見守ってくださっていることを子どもたち自身が感じているからにちがいありません。双方向のつながりがあるからこそその行動です。

少し前の話ですが、掃除の時間に5年生の子が職員室に特別教室のかぎをとりに来たことがあります。そこへ2年生の子がごみを捨てに来ました。ところが、ごみ箱が何種類かあって、どこに捨てるのか迷っている様子でした。するとその5年生の子が「そのごみは、そこのごみ箱だよ。」と教えました。その自然な行動にとっても温かい気持ちになったことを覚えています。優しく教わった2年生は、きっと優しい高学年になることでしょう。

人と関わることで子どもたちは成長していきます。釜利谷東小学校の保護者のみなさま、地域のみなさま、これからも子どもたちへのご支援とご協力をお願いいたします。